

After Disaster Hit Japan, Electric Cars Stepped Up

ニューヨーク・タイムズのWeb版に掲載された写真と記事



HELPING OUT An electric Mitsubishi i-MiEV in a tsunami-wrecked area of Iwate Prefecture.

By KEN BELSON

Published: May 6, 2011

TOKYO

Enlarge This Image



Three of 89 i-MiEVs at work in the Tohoku region of northeastern Japan.

WITH deep-tread tires and ample ground clearance, a rugged 4-wheel-drive Hummer or Jeep might seem the best choice for navigating through the wrecked cities of northeastern Japan. The areas pummeled by the earthquake and tsunami in March would surely be inhospitable for an

RECOMMEND

TWITTER

SIGN IN TO E-MAIL

PRINT

SINGLE PAGE

REPRINTS

SHARE

総社の支援 NY紙に

「ガソリン不足の被災地 電気自動車活躍」

東日本 大震災

ガソリン不足の被災地では、大型四駆ではなく電気自動車が役立った。その意外性を伝える米ニューヨーク・タイムズ紙の記事に、総社市が送った三菱自動車の「アイミーブ」が写真付きで紹介された。

「被災地は（大型）四駆のハマーかジープが最適で、電気自動車など向かな

いように思えるが、実は大活躍だった——」

記事は、そんな書き出しで8日付日曜版に掲載された。写真に使われたのが、総社市の公用車。記事では「片岡聡一市長が公用車を（医療NGO）AMDAに貸した。東北まで4日かかった」と書かれている。

総社市は、2009年8月にアイミーブを2台購入。AMDAには3月19日に貸し出し、4月末まで、岩手県釜石市や大槌町での巡回診療などに使われた。夜間の充電で1日使える電気自動車は、ガソリンの確

保で何時間もスタンドに並ぶ必要がなく、大歓迎されたという。

現地で活躍するアイミーブの話を市から聞いた三菱自動車の社員が、ニューヨーク・タイムズ紙の記者に教えたという。片岡市長は「世界の一流紙に掲載されるとは驚いた。電気自動車は多くの人の助けになった」と喜んでいる。

（吉村治彦）